

# モノグサ Monoxerの使い方

## 誰でも憶えられるから、 成績が上がる

Monoxerであれば、あなたがどれくらい憶えているか、どうやって忘れるのか、何が得意で何が苦手かをAIが正確に測定します。あなたの記憶に合わせて問題の難易度が変わるので、出てくる問題を解き続けるだけで記憶定着が進んでいます。グラフで表示される自分の記憶を見れば、いつでも自分の苦手分かります。さらに忘れ方合わせた復習問題も出されるので、テスト前に忘れることなく確実に成績を上げることができます。



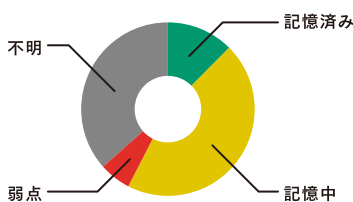
## 記憶度に合わせて 難易度変化

問題を解くたびに記憶状態を分析し、必要な問題を必要なだけ、忘れた頃も見計らって適切な難易度で出題します。いわば、個人の専用問題集が出来上がるようなイメージです。



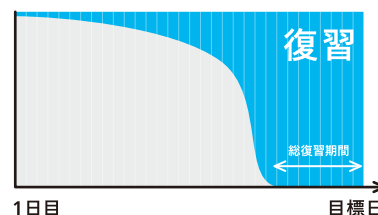
## 定着度を可視化

難易度ごとの正誤情報や回答履歴をすべて集計しており、「今どれだけ憶えているか」をAIが判定・計測します。これまで曖昧だった記憶度を客観的に、正確に測定することができます。



## 毎日の最適な学習量を 自動設計

学習の目標日を登録することで、期限までに憶えきれるよう毎日の学習内容を提案します。計画の内容は日々の取り組みに合わせてアップデートされ続けるので、着実な記憶定着ができます。



## 覚えやすさと忘れにくさの双方から紙の学習より、 Monoxerの学習を推奨します。



紙 (単語帳など)

覚えやすい	問題形式	<input checked="" type="radio"/> 単語、ディクテーションなど様々な形式	<input checked="" type="radio"/> 問題の形式になっていない
	難易度変化・適応学習	<input checked="" type="radio"/> 択一や自由入力など自動で調整	<input checked="" type="radio"/> 自分で難易度調整をする必要あり
	学習時間・量	<input checked="" type="radio"/> 毎日の最適な学習量を自動設計	? 自分で憶えたと思うまで学習
忘れにくい	定着度の把握・可視化	<input checked="" type="radio"/> AIが記憶状況を客観的に判定し、%で表示	△ 自分の感覚で都度判断
	反復演習	<input checked="" type="radio"/> 忘却速度を加味して出題	△ 自分で都度判断して学習
その他	一覧性	△ 形式によっては冗長	<input checked="" type="radio"/> 一覧で見するのに適したレイアウト
	学習履歴	<input checked="" type="radio"/> 学習回数や時間帯を計測可能	△ 書き込みや汚れで判断